

2018.06.15

第9回沖永良部シンポジウム

『ローカルが主役の時代を迎えて

—子や孫が大人になったときにも笑顔あふれる美しい島づくり—

開催趣旨

第5回沖永良部シンポジウム『環境と成長の両立を地方から考える』(2014)では、2年間にわたって行った90歳ヒアリング結果から、島の文化が5つの要素で出来上がっていることを明らかにし、第6回シンポジウム『エラブしてる? さすていなぶるあいらんどをめざして!』(2015)で、5つの文化要素を孫が大人になった時にもより光り輝くものにするためには、何をしなければならぬのかをバックキャスト手法で描き、提言書として18の提言を両町に提出しました。一方、草の根的に島人が具体的に行動出来ることは何かを明らかにするために、第7回シンポジウム『孫が大人になった時にも光り輝く美しい島づくり』(2016)を通して、酔庵塾の中に12の部会が設置され、活動が開始されました。部会成果をさらに収束させるために、第8回シンポジウムでは、『こども・島・お金・自足を考える』(2017)をテーマに自足のための具体的な方策を議論しました。

第8回シンポジウムの成果をベースに、少子化・高齢化・人口減少という、課題先進地域で色々なものを可能な限り自足することで、お金を外にじゃぶじゃぶ流さない、そうすることで、お金が島の中をめぐり、お金が外から入ってきて、笑顔も増える、そして仕事も生まれ、人口も増え、多くの人にとって憧れの島になる。そんな島づくりのために「食料の自足」「エネルギーの自足」「教育(文化)の自足」「お金の自足」を土台に、そして島自慢が出来る島人(特に子供たち)育成を課題として具体的な行動を興すための議論を進めてきました。

課題はたくさん明らかになり、具体的に進み始めたものも、どうやって進めたらよいか壁にぶつかっているものもあります。今回の第9回沖永良部島シンポジウムでは、今までの議論の成果を皆さんに見て頂き、さらに進めてゆくためには何を考えればよいのか、多くの御意見を重ねて行きたいと考えています。

一方では、ローカルは東京の下請けではありません。ローカルが豊かにならなければ、東京だけでなく、この国が衰退することも事実です。そのために、自足や島自慢が出来る島人を育てなければならないと考えているのですが、さらなる視点の欠落はないのでしょうか? 地域特性を活かした地域活性化の日本を代表する一人である「藻谷浩介」氏を招き、新しい視点についても議論したいと考えています。

シンポジウム申し込みは下記へ!!

<http://suianjuku.com/symposium2018/>

プログラム

開催日時：2017年9月1日（土）09：30—17：30

於：沖永良部島知名町 フローラル館にて

【プログラム】

「午前の部」

09：30 実行委員長 朝戸武勝 NPO ファングル塾代表

09：35 石田秀輝 酔庵塾塾長 合同会社 地球村研究室代表社員 東北大学名誉教授
星槎大学サテライトカレッジ in 沖永良部島 分校長

開催趣旨『今考えなければならないことは？』

10：15 基調講演

藻谷浩介

演題『沖永良部島は消滅しない？』（仮題）

11：15 酔庵塾ワークショップ報告

「食料の自足」「エネルギーの自足」「教育(文化)の自足」「お金の自足」
うじじきれい団（沖永良部島きれい団）活動報告（小学生）

12：15 昼食 料金 1,000 円*事前申し込み

「午後の部」

13：15 分科会

- ① 自足に関する検討会（食・教育（文化）・エネルギー）＋第 11 回ローカルファイナンス研究会 in 沖永良部島
- ② こどもサミット（島内の子供たち対象）
- ③ 島まるごと秘密基地ワークショップ

15：30 分科会発表 + ローカルファイナンス発表

16：30 パネルディスカッション

（並行して、子供たちのアクティビティ発表）

17：30 シンポジウム終了

18：00 大交流会（同会場）会費 3,500 円*事前申し込み

【問い合わせ】

合同会社 地球村研究室 代表社員 石田秀輝

電話：0997-84-3310

e-mail: emile.h.ishida@gmail.com